



学術論文作成の基本と EESを用いたJournal of Oral Biosciences誌 への投稿方法について

大島 勇人

Journal of Oral Biosciences 誌編集長

新潟大学大学院医歯学総合研究科

histoman@dent.niigata-u.ac.jp





論文の構造

- **Title** (タイトル) → 内容を明確に示す
 - **Authors** (著者) → authorshipが分かるようにする
 - **Abstract** (抄録) → 何をしたかを簡潔に説明する
 - **Keywords** (キーワード) → 論文が抄録・索引サービスで正しく識別されるようにする
1. **Introduction** (序文) → 背景・仮説を説明し、研究の目的を示す
 2. **Materials & methods** (方法) → データの収集方法や実験方法を説明する
 3. **Results** (結果) → 何を発見したかを説明する
 4. **Discussion** (考察) → 研究結果の意味を検討する
- **Acknowledgements** (謝辞) → 研究を支援した人が分かるようにする
 - **Conflict of interest** (利益相反) → 利益相反の有無を明示する
 - **References** (参考文献) → 過去に出版された論文が分かるようにする
 - **Supplementary material** (補足資料) → 専門家向けの補足資料を提供する



論文を書く事の重要性

- **Publish or Perish**:「出版せよ、そうでなければ消えてしまいなさい」
(アメリカのアカデミズムの格言)
 - 研究はその成果としての論文や本の出版を伴う
 - 出版することで、社会にそれを還元する義務を負っている
 - 論文や本を出版しない教員は、現場からの「消滅・退場」Perishに値する
- **And then all rubbish prevail**:「粗造濫造」
 - 生産性だけが優先されれば、研究と論文の質の低下を招く(児玉昌己 [久留米大学])
- **Work, Finish, Publish**:「はたらき、まとめ、出版せよ」(Michael Faraday [1971-1867])



Form <http://blog.arjournals.com/2012/07/publish-or-perish-current-trend-in.html>

JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES
Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology



研究の戦略

1. 研究目的を考える

- まず、自分は何を知りたいか？ 何を見つめたいか？ 何を示したいか？ を考える
- 目的のない研究は、研究のための研究、論文のための研究になる
- Rationale(理論的根拠)が重要である

2. 目的が決まったら

- 解決するための手段を考える
- 研究手段を考えることはきわめて難しい
- 研究手法を多くもっている研究者ほど問題解決能力が高くなる
- 研究は数学である(研究手法＝公式)

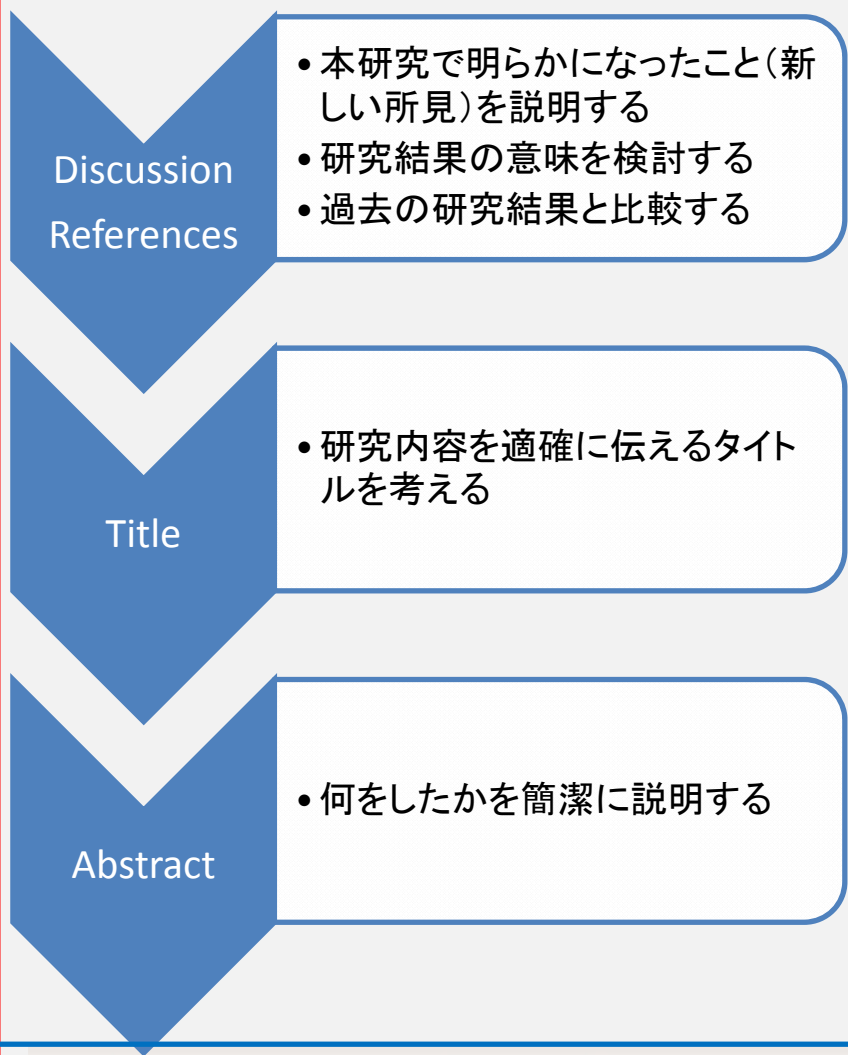
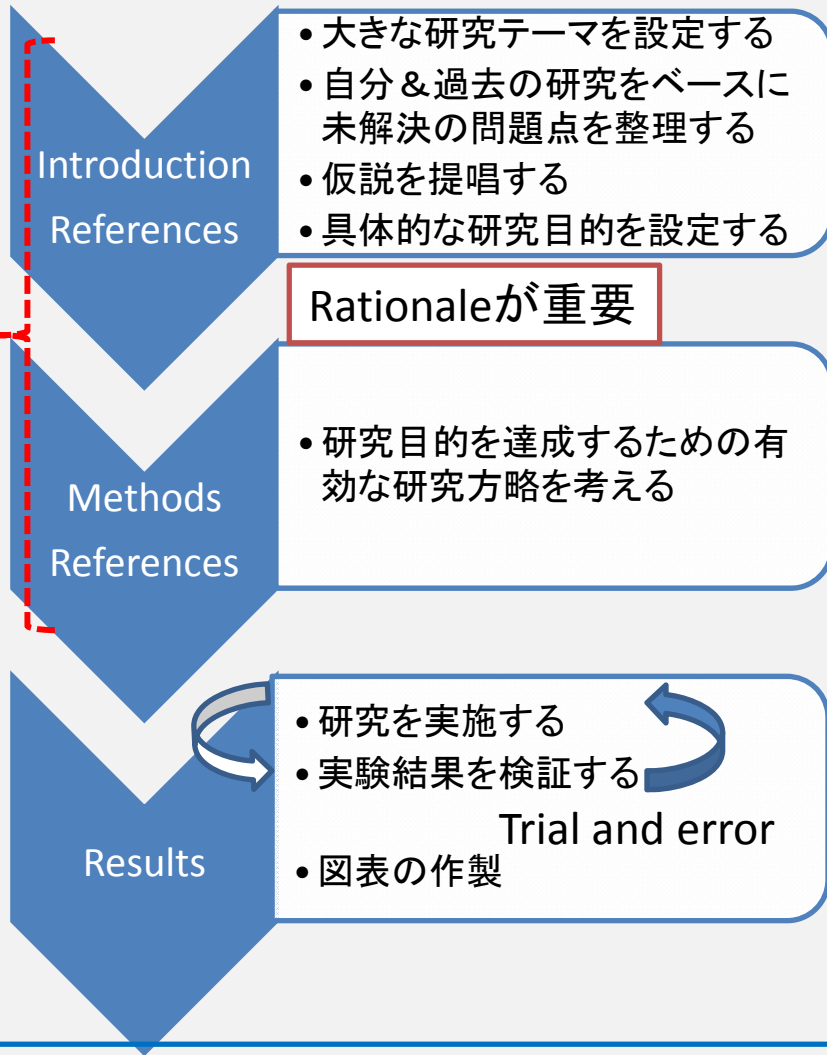


研究と論文の構成

研究

論文

科研費申請



演繹法

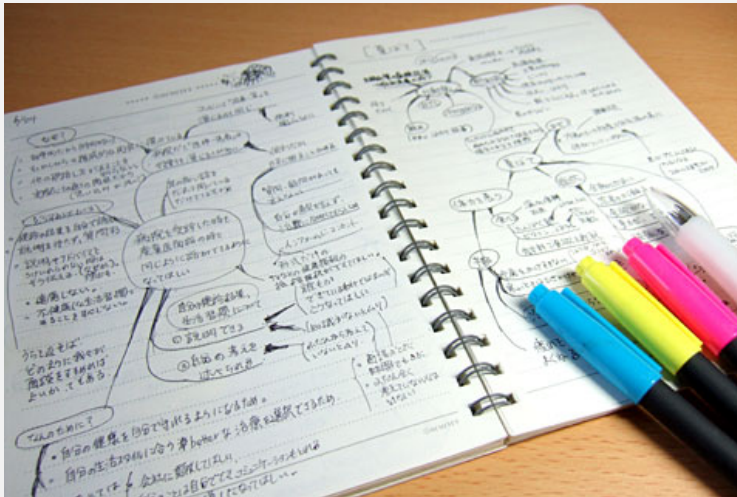


帰納法



科研費申請アイデアのまとめ方

- 応募内容の全体構想を考えたから、細部の項目を仕上げていく
- 研究のアイデアは常日頃からノートに記録しておく
- マインドマップ(中心となるテーマを中央に書き、そこから自由に枝を伸ばしながらメモを取る方法)はアイデアをまとめるのに役に立つ



From <http://e-doc.xii.jp/archives/327>



演繹法と帰納法

相互検証・使い分け

演繹法とは

- 一般的原理から論理的推論により結論として個々の事象を導く方法
- 演繹法の欠点は、正しくない、あるいは使用するのが適切ではない前提を用いてしまうことがある

帰納法とは

- 個々の事象から、事象間の本質的な結合関係(因果関係)を推論し、結論として一般的原理を導く方法
- 帰納法の欠点は、全事例を網羅するか、それと同等の論理証明をしない限り、帰納した結論(帰結)は必ずしも確実な真理ではなく、ある程度の確率を持ったものに過ぎない

- 先入観や偏見、曖昧さの排除
- 複雑な問題は分解し、複数の単純な問題にして解決を図り(分析)、単純な問題の解決結果を、それらの関連性に基づいて再構築し、複雑な問題の解決へと進む(総合)
- 可能な限り全ての事例や仮説を揃え(枚挙)、背理法や統計的検定といった選別手段により不適切な事例や仮説を排除していく(排除法)
- 自説に都合の悪い事例や仮説でも、敢えて取り上げて検証する姿勢(客観的批判)をもち、原理を実際に検証する作業(実験)、及び、原理を広範囲の事例と照らし合わせて確認する作業(照合)を行う



論文を強く意識して研究を進める

- 実験が終了してから論文を作成するのではなく、作成しながら実験を行う
- 研究とは新たなフィロソフィーを生み出す作業であり、データを集める作業ではない
- フィロソフィーを良く伝えるためには、コアとなるデータを厳選して図表にまとめ、分かりやすい順番で組み立てる(骨格を作る)ことが、重要である
- コアデータは再現性を慎重に確認し、磨き上げる
- Beauty is truth, truth beauty (John Keats): 美しい写真は真実である



論文執筆の前に

- 強力な論文とは→Novel, Clear, Useful, Exciting!
 - Novel, clear, useful, excitingなメッセージを発信している
 - 論理構成がしっかりしている
 - 他人本位(読者の視点に立った記述)で、エディター、レビュアー、そして読者が科学的な重要性を容易に理解できる
- 自分に問いかけよう→すべて“Yes”ならすぐに執筆開始！
 - 新しく、興味深い知見が得られているだろうか？
 - 現在ホットなテーマだろうか？
 - 何か困難な問題に答えを提示しているだろうか？
 - 現時点で発表して良いだろうか？



適切なジャーナルを選ぼう

- 研究領域の現在のトレンドやホットなテーマを良く理解する
- どのジャーナルが適した投稿先か、しっかり選ぶ
 - Impact factor、ジャーナルのスコープ、どんなテーマの論文が良く掲載されているか、自分の論文の参考文献……
- Impact factorを気にしすぎないようにする
- 真筆前に、投稿しようとするジャーナルのGuide to Authorsをじっくり読んで、体裁をきちんと守って執筆する
- 同じジャーナルに掲載されている類似テーマの論文を参考にする
- Journal of Oral Biosciencesへの投稿を考える





科学的な重要性をつかみ易い論文を！

- **エディター・レビュアーは忙しい！**
 - Abstract, Introduction, Conclusionを読んだだけで、「何が問題で、何を行って、どのようなインパクトのある結果が得られたか」がよく分かるようにする
- 論文を書いてジャーナルに投稿すると、審査され、大幅な改訂を求められたり、掲載を断られる場合がある→そのこと自体が大きな勉強になる
- レビューにはきちんと答える→論文を良くするチャンスである
- レビュアーが誤解している場合もあるので、その場合は、きちんと丁寧に説明する。



執筆前に論文の骨格を考える

Introduction

Background

- 何故本研究を実施する必要があるのか？
- 問題点は何なのか？
- 仮説を提唱する

Research objectives

- 研究目的を達成する研究方略が立案されていない

Materials & methods

Results

- 本研究で明らかになった結果(所見)を示す
- 論文の善し悪しは Resultsで決まる

Discussion

- Resultsで示された結果の意味・意義を示す
- 未解決の問題や臨床的意義など今後の展望も示す
- IntroductionとResultsの繰り返しを避ける

それぞれのsection間で内容の重複を避け、各section相互を有機的に関連づけることが、科学的な重要性をつかみ易い論文を作成するコツである



論文の骨格(実例)

Journal of Oral Biosciences 55 (2013) 91-100

Introduction

Use of a triple antibiotic solution affects the healing process of intentionally delayed replanted teeth in mice

Background

- 3Mixの臨床応用について—外傷歯治療への3Mixの応用の限界を述べる
- 歯の再植後の歯髄治癒パターンについて—再植歯の歯髄治癒パターンを調整することの重要を述べる
- 歯の再植後の歯髄治癒パターンの決定因子について—細菌の関与について述べる
- 再植歯への抗菌薬の効果について—過去の研究では、細胞増殖・分化、アポトーシスの様な細胞レベルの検索がなされていないことを述べる
- *In vivo*再植動物実験の限界について—歯髄再生には着目していないことを述べる

Research objectives

- マウス意図的遅延再植への3Mix応用の動物実験モデルの確立
- 歯髄・歯根膜への3Mixの効果免疫組織化学的・酵素組織化学的解析とTUNEL評価

Materials & methods

- 動物実験モデルの説明 (Table 1)
- 組織標本作製
- 免疫組織化学及びTUNEL評価
- 酵素組織化学
- 細胞増殖とアポトーシスの統計処理
- アンキローシスと歯根吸収の統計処理

Discussion

- マウス動物実験モデルの確立に成功—3Mixが歯髄再生に効果的に働く
- 3Mixの濃度と治癒パターンとの関係について—歯髄再生には適切な3Mix濃度が必要である
- 3Mixの応用とアンキローシスについて—3Mixはアンキローシスを促進するが、PBSの洗浄で改善する
- 未解決の問題—歯根膜への影響やヒトとマウスのギャップについて述べる

Results

- Fig .1: 対照群
- Figs. 2-4: 実験群
- Table 2: 治癒パターン
- Fig. 5: 細胞増殖活性
- Fig. 6: TUNEL評価



Introduction

- **Background**と**Research objectives**に分かれる
- 研究する問題、問題の背景説明、研究を行う理由について明確に述べる
- 関連の研究をまとめて前後関係を説明し、自分の論文が既に発表されている論文とどう違うのか、どんな課題に答えているのかを述べる
- 反論、あるいは支持する他の人の研究結果があれば言及する
- 実験、仮説、研究する問題点、一般的な実験の計画や方法も、簡潔に説明する
- 最後に研究の具体的な目的を述べる



Materials and methods

- Materials and Methods or Experimental Methods (材料、研究方法、実験的方法) など
- このセクションの主な目的は、読者が同じ研究を反復できるよう十分な情報を与えること
- どのように問題点を研究したのかを説明し、手順を明確にし、それらを可能な限り時間軸に沿って並べる
- 新しい方法を取り入れた場合は、詳細な説明が必要
- 新しい方法でなければ、方法の名前を挙げ、既に発表されている論文を引用する
- その方法に修正を加えている場合は、元の論文を参照するとともに、修正点を書き加える
- 器具や装置、使用した材料について述べ、供給元を明確にする
- 観察の頻度、記録したデータのタイプも明記する
- 測定値は正確に、誤差も記録する
- 使用した統計的試験があれば明記し、数値結果の正当性を実証する
- 過去時制を使用し (Resultsも過去時制)、一人称を使用しない



Results

- 研究結果を客観的に提示し、発見したことを言葉で表現する→明確かつ論理的な順序に従って述べる
- 研究から得られた主要な結果のみを示す
 - ということは全部の結果ではない→取捨選択が重要
 - Methods sectionで記述した実験から得られた結果を記載する
- 過去の報告と異なる結果や予想外の結果は強調する
- 統計的な解析は極めて重要である
- 適切な対照実験を行うことが重要である
- 図で示すか、表にまとめるか→どちらが効果的か良く検討する
- 結果の分析を述べてはいけない→Discussionで述べる



Discussion

- 結果の意味や意義を伝える→研究が科学知識の進歩にどのように寄与するかを説明する
- 論文において最も重要な場所であり、多くの論文がDiscussionが弱いために掲載不可となっている。
- 以下の点を記述できているか。
 - データが、introductionで述べた問題や研究目的とどう関係しているか
 - 各データの意味や意義はどうか
 - 各データは他の研究者の報告と整合する結果となっているか
 - 何か限界は無いか
 - 論理的に結論を導き出せるか
- してはいけないこと
 - 結果から導き出せないところまで、飛躍して述べること
 - 突然新しいタームやアイデアを述べ出すこと



Conclusion

- 独立した項目である場合とDiscussionに含める場合がある
- 包括的かつ具体的な結論を示す
- どのように利用や拡張ができるか、適当であれば示す
- 将来の実験プラン(既に始めているかも含めて)を示す
- 論文の要約はしない(要約はAbstractで)
- インパクトの評価を行うことは避ける
- 感覚的な表現 (e.g. low/high, extremely, enormous, rapidly, dramatic, considerably, massive, major/minor,)は避ける
→できるだけ定量的な表現を心がける



Authors

- 著者一覧には、研究に関与した人、すなわち、データや結論を公式養護し、最終原稿を承認した人だけを含める
- その研究の遂行および論文の執筆に最も大きく貢献した人を第一著者とする
- equally contributedとして第一著者を2名とする場合がある
- コレスポンディングオーサーがジャーナルとのやり取りの窓口となり、著者を代表して論文の責任を負う(last authorの場合が多い)
- Authorshipについては、Harvard Faculty Authorship Guidelinesを参照
<https://research.bidmc.harvard.edu/Policies/Authorship.asp>



Title

- タイトルは、論文の内容を明確かつ正確に表現し、読者がそれを見て論文を読むべきかどうかを判断できるものでなければならない
- タイトルは、論文の広告でもある→魅力的でないタイトルの論文は対象読者に決して届かない
- 具体的なタイトルを決める→A study of ~, Investigation of ~, Observations on ~など、無駄な言葉は省く
- 略語や隠語を使ってはならない
- タイトルに使用されている言葉は抄録・索引サービスにキーワードとして索引づけされるため、タイトルの正確さが重要となる。



Keywords

Abstract

Human dental pulp contains adult stem cells. Our recent study demonstrated the localization of putative dental pulp stem/progenitor cells in the rat developing molar by chasing 5-bromo-2'-deoxyuridine (BrdU)-labeling. However, there are no available data on the localization of putative dental pulp stem/progenitor cells in the mouse molar. The relationship between cell proliferation and the most active cell proliferation in the pulp tissue dramatically changed after four intraperitoneal injections of BrdU in tissues of postnatal animals. Numerous cells were found at the center of the dental pulp, associated with markers such as STRO-1 and CD146. Thus, dense LRCs in mature pulp tissues were believed to be dental pulp stem/progenitor cells harboring in the perivascular niche surrounding the endothelium.

PMID: 22370596 [PubMed - indexed for MEDLINE]

Publication Types, MeSH Terms, Substances

Publication Types

Research Support, Non-U.S. Gov't

MeSH Terms

- [Animals](#)
- [Bromodeoxyuridine/metabolism*](#)
- [Cell Count](#)
- [Cell Differentiation*](#)
- [Cell Proliferation](#)
- [Dental Pulp/cytology*](#)
- [Dental Pulp/growth & development](#)
- [Humans](#)
- [Immunohistochemistry](#)
- [Intermediate Filament Proteins/metabolism](#)
- [Mice](#)
- [Mice, Inbred ICR](#)
- [Microscopy, Confocal](#)
- [Models, Biological](#)
- [Molar/cytology*](#)
- [Molar/growth & development*](#)
- [Nerve Tissue Proteins/metabolism](#)
- [Rats](#)
- [Staining and Labeling*](#)
- [Stem Cells/cytology*](#)
- [Stem Cells/metabolism](#)

Keywords Bromodeoxyuridine · Cell proliferation · Dental pulp · Stem cells · Mice (ICR)

- KeywordsにはMeSHを用いる
 - MeSH (Medical Subject Headings) is the NLM controlled vocabulary thesaurus used for indexing articles for PubMed.
- 論文にはMeSHが割り当てられている



Abstract

- 抄録は、50～300語で問題点、方法、結果、そして結論をまとめたもの
- 読者が論文全体を読むかどうかを判断できるだけの十分な情報を含んでいる必要がある
- 単体でも内容が分かるように、過不足なく記述する
- Objectives, Methods, Results, Conclusionsを含める

ABSTRACT

Objective: A mixture of ciprofloxacin, metronidazole, and minocycline (3Mix) has been reported to be effective against oral bacteria from carious and endodontic lesions *in vitro* and *in vivo*. The objective of this study was to establish an animal model using mice for the application of 3Mix following intentionally delayed tooth replantation and to investigate the effects of 3Mix on the healing process of dental pulp and periodontal tissues.

Methods: Upper first molars of ICR mice were extracted, immersed in 3Mix solution at different concentrations for 5–60 min with or without the use of a transfer solution (phosphate buffer solution (PBS)), in addition to transfer solution alone, and subsequently repositioned in the sockets. Immunohistochemistry for nestin and Ki-67, histochemistry for TRAP, and TUNEL assay were performed to assess pulpal healing during days 7–21.

Results: Increased apoptosis was observed in the PBS group at week 1, followed by cell proliferation at week 2, and tertiary dentin and/or bone-like tissue formation at week 3. In contrast, nestin-positive, newly differentiated, odontoblast-like cells began to align along the pulp–dentin border following the appearance of Ki-67- and TUNEL-positive cells during weeks 1–2 in the 3Mix groups, suggesting that pulpal healing was accelerated. Severe root ankylosis was observed exclusively in the 3Mix groups. Rinsing with PBS before replantation partially rescued the viability of the periodontal ligament, but pulpal healing was delayed.

Conclusions: The application of 3Mix promotes pulpal regeneration of intentionally delayed replanted teeth; however, its use may induce severe damage.



Acknowledgments

- 協力者、指導教員、無償で材料を提供してくれた人など、研究を支援してくれた人の名前を挙げる
- 科研費など研究費の支援を受けた場合は、ここに記載することが多い
 - Fundingが独立している場合もある

Funding

The author(s) disclosed receipt of the following financial support for the research and/or authorship of this article: This work was supported in part by Grants-in-Aid for Scientific Research (B) (no. 22390341 to H.O.) and Exploratory Research (no. 20659296 to H.O.) from MEXT and JSPS,



References

- 過去に発表された論文を参考にする際は、必ず出典を明らかにする
- 自分の実験や「常識」で得られない情報はすべて、引用として示す必要がある

- [2] Shore EM, Kaplan FS. Insights from a rare genetic disorder of extra-skeletal bone formation, fibrodysplasia ossificans progressiva (FOP). *Bone* 2008;43: 427-33.
- [3] Katagiri T. Heterotopic bone formation induced by bone morphogenetic protein signaling: fibrodysplasia ossificans progressiva. *J Oral Biosci* 2010;52:33-41.
- [4] Shore EM, Xu M, Feldman GJ, Fenstermacher DA, Cho TJ, Choi IH, Connor JM, Delai P, Glaser DL, LeMerrer M, Morhart R, Rogers JG, Smith R, Triffitt JT, Urtizbera JA, Zasloff M, Brown MA, Kaplan FS. A recurrent mutation in the BMP type I receptor ACVR1 causes inherited and sporadic fibrodysplasia ossificans progressiva. *Nat Genet* 2006;38:525-7.



From http://ipw.naist.jp/conflict_of_interest/index.html

Conflict of interest

- 「利益相反」とは、教職員が得る外部利益と、教職員として保持すべき大学のインテグリティ(社会的信頼)とが両立しえない状態のことをいう。
- 「利益相反」は産官学連携活動に伴って必ず発生し、これ自体は決して悪いことではない。
 - たとえば、産学連携活動を行うにあたって、個人としての責務を負い利益を得ることは、自己の成果に対するコミットメントを増大させ、研究推進のインセンティブとなり、社会にも絶大な利益をもたらしている産官学連携活動を加速させる一面を持っている。この行為を、利益相反行為に該当する可能性は高いからといってすべて禁止するとなると、意欲が減退し、結果として産官学連携活動が阻害されるおそれがある。したがって、一概に「利益相反＝悪」とは言えない。ただし、利益相反行為を何の対応もせず放置したり、隠していたりすると問題になる。

Conflict of Interest

No potential conflicts of interest are disclosed.

JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology



Supplementary material

- 通常、科学論文に生データは記載しないが、データが有用と考えられる場合、論文に添付することができる
- 補足資料には、生データの表、動画、写真、複雑な3Dモデルなども含めることができる

enchymal cells seems to be precisely controlled spatiotemporally, and the glucose uptake mediated by GLUT1 plays a crucial role in early tooth morphogenesis including the determination of tooth size.

Supplementary materials related to this article can be found online at [doi:10.1016/j.ydbio.2011.12.020](https://doi.org/10.1016/j.ydbio.2011.12.020).

Journal of Oral Biosciences

[home](#) | [main menu](#) | [submit paper](#) | [guide for authors](#) | [journal info](#) | [register](#) | [log in](#)



Journal of Oral Biosciences

Welcome to the online submission and editorial system for *Journal of Oral Biosciences*.

The *Journal of Oral Biosciences* is the official journal of the Japanese Association for Oral Biology, and is published quarterly in addition to a supplementary issue for the Proceedings of the Annual Meeting of the Japanese Association for Oral Biology. The Journal is devoted to the advancement and dissemination of fundamental knowledge concerning every aspect of oral biosciences including cariology research, craniofacial biology, dental materials, implant biology, geriatric oral biology, microbiology/immunology and infection control, mineralized tissue, neuroscience, oral oncology, periodontal research, pharmacology, pulp biology, salivary research, and other fields.

Hints:

We strongly suggest you regularly check your spam folder for

Original article: < 3,000 words

Review: < 6,000 words

Short communication: < 1,500 words

Technical note: < 1,500 words

Letter: < 600 words

This journal requires no page charges.

Have you registered on this site but forgotten your password? Simply click [Forgotten Username/Password](#). Once you have registered, your personal details are secure: our Support staff cannot update this information for you.

Do you wish to change your username or password? Simply log in to EES and select "change details".

Support information

[Help](#) | [Privacy Policy](#) | [Terms and Conditions](#) | [About Us](#)



Introduction

The *Journal of Oral Biosciences* is the official journal of the Japanese Association for Oral Biology, and is published quarterly. The Association is a unique society from the point of view of its constitution: it includes researchers from different academic research fields such as anatomy, physiology, biochemistry, pharmacology, microbiology, and pathology. The Journal is devoted to the advancement and dissemination of fundamental knowledge concerning every aspect of oral biosciences including cariology, craniofacial biology, dental material research, implant biology, geriatric oral biology, microbiology/immunology and infection control, mineralized tissue research, neuroscience, oral oncology, periodontal research, pharmacology, pulp biology, salivary research, and other fields. The journal welcomes the submission of manuscripts from any country regardless of society membership.

Types of article

The Journal publishes original and review articles, short communication, technical note and letter.

Original article

The length of an original article should not exceed 3,000 words, excluding tables, figures and figure legends, which should number in all not more than 8. References are limited to 50. All manuscripts must be structured into sections as shown in "Article structure" in the Preparation section below. Abstracts are limited to 250 words.

Review

The length of a review should not exceed 6,000 words, excluding tables, figures and figure legends. Abstracts are limited to 250 words. Article structure is guided in the Preparation section below.

Short communication

A short communication should follow the same format of an original article, be presented as concisely as possible, and not exceed 1,500 words, excluding tables, figures and figure legends, which should number in all not more than 3. Abstracts are limited to 100 words.

Technical note

A technical note should describe a progress related to methodologies, be presented as concisely as possible, and not exceed 1,500 words, excluding tables figures and figure legends, which should number in all not more than 3. Abstracts are limited to 100 words.

Letter

The length of a letter should not exceed 600 words, excluding tables, figures and figure legends. Comments to a recently published article in the Journal or an author's response to such a comment. Neither abstract nor keywords are required.

Contact details for submission

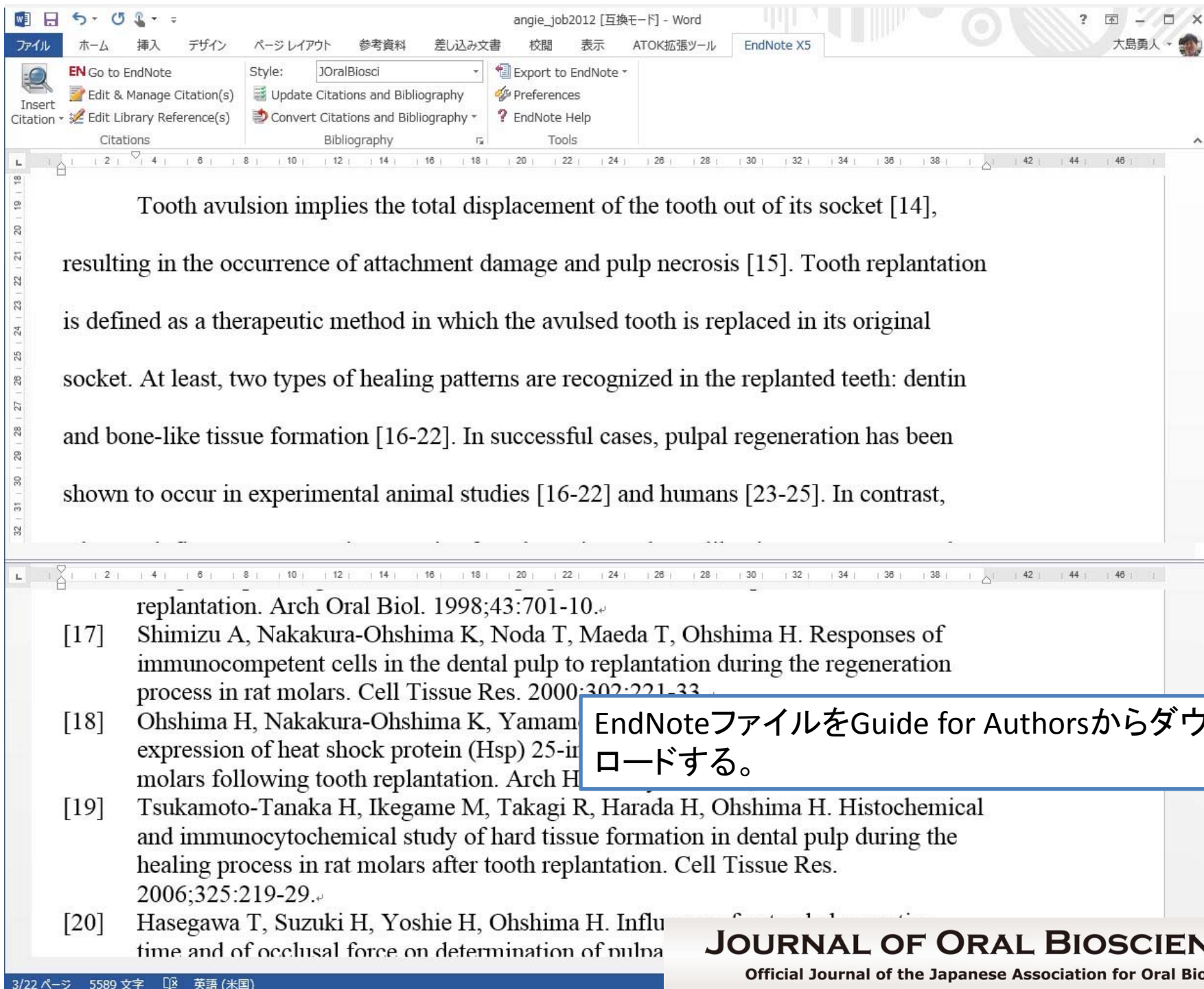
Send inquiries on submission to:
JOB Editorial Office
E-mail: jp.job@elsevier.com
Tel: +81-3-3589-5037
Fax: +81-3-3589-6364

Page charge

This journal

JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology



Tooth avulsion implies the total displacement of the tooth out of its socket [14], resulting in the occurrence of attachment damage and pulp necrosis [15]. Tooth replantation is defined as a therapeutic method in which the avulsed tooth is replaced in its original socket. At least, two types of healing patterns are recognized in the replanted teeth: dentin and bone-like tissue formation [16-22]. In successful cases, pulpal regeneration has been shown to occur in experimental animal studies [16-22] and humans [23-25]. In contrast,

- replantation. Arch Oral Biol. 1998;43:701-10.
- [17] Shimizu A, Nakakura-Ohshima K, Noda T, Maeda T, Ohshima H. Responses of immunocompetent cells in the dental pulp to replantation during the regeneration process in rat molars. Cell Tissue Res. 2000;302:221-33.
- [18] Ohshima H, Nakakura-Ohshima K, Yamamoto T. Expression of heat shock protein (Hsp) 25 in rat molars following tooth replantation. Arch Oral Biol. 2006;51:101-10.
- [19] Tsukamoto-Tanaka H, Ikegame M, Takagi R, Harada H, Ohshima H. Histochemical and immunocytochemical study of hard tissue formation in dental pulp during the healing process in rat molars after tooth replantation. Cell Tissue Res. 2006;325:219-29.
- [20] Hasegawa T, Suzuki H, Yoshie H, Ohshima H. Influence of occlusal force on determination of pulpal vitality in rat molars after tooth replantation. J Oral Biosci. 2006;28:101-10.

EndNoteファイルをGuide for Authorsからダウンロードする。

- ピクセルとDPIについて理解する。
- 画像ファイルは300dpiを選択する。
- Single columnか1.5 columnかFull widthを選択する。
- 最大190 mm × 240 mm
- ビットマップ画像編集ソフトウェア(例えばPhotoshop)を使って画像を作成する。
- TIFFファイルで保存する。

as factors for one may be detrimental for the other part. In these cases, the author can help by suggesting an appropriate final size for the combination (single, 1.5, two column).

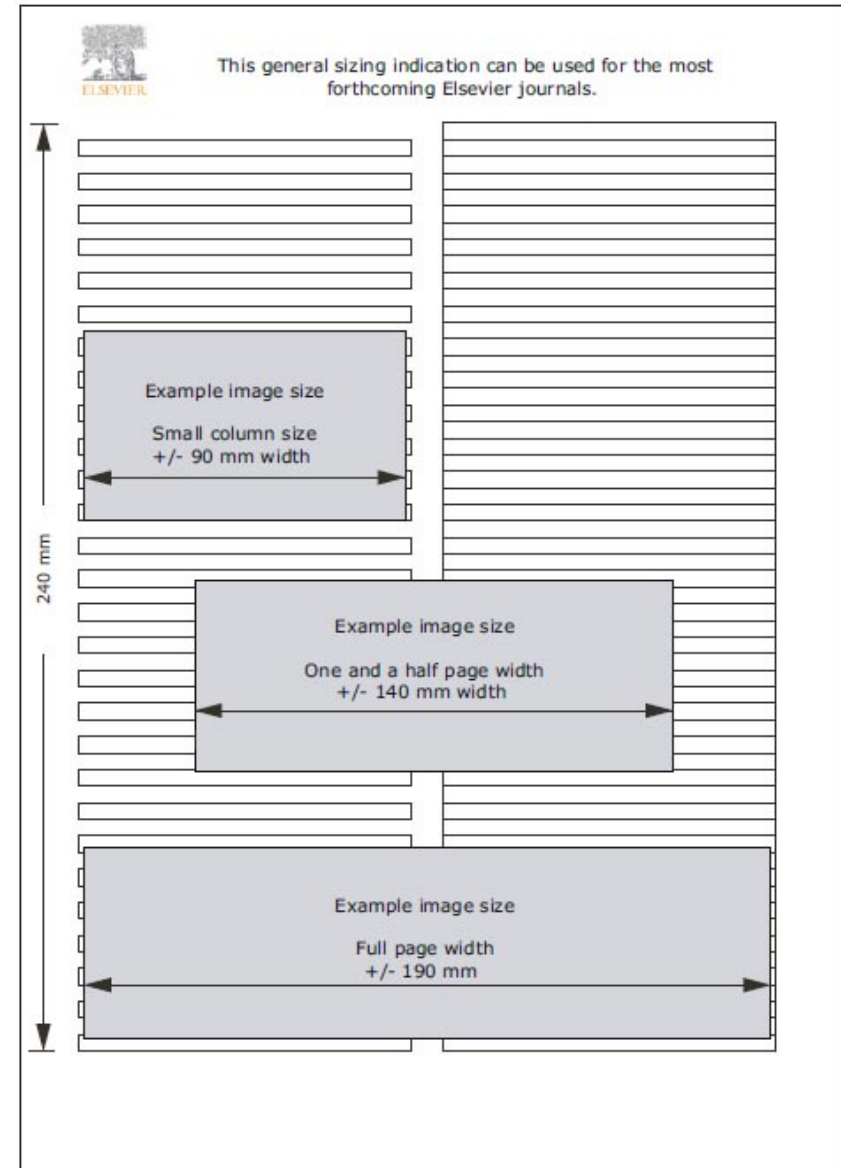
Number of pixels versus resolution and print size, for bitmap images

Image resolution, number of pixels and print size are related mathematically:

$\text{Pixels} = \text{Resolution (DPI)} \times \text{Print size (in inches)}$

Target size	Image width	300 DPI	500 DPI	1000 DPI
Minimal size	30 mm	354	591	1181
Single column	90 mm	1063	1772	3543
1.5 column	140 mm	1654	2756	5512
Full width	190 mm	2244	3740	7480

300 DPI for halftone images; 500 DPI for combination art; 1000 DPI for line art.



- 新規(N)... Ctrl+N
- 開く(O)... Ctrl+O
- Bridge で参照(B)... Alt+Ctrl+O
- Mini Bridge で参照(G)...
- 指定形式で開く... Alt+Shift+Ctrl+O
- スマートオブジェクトとして開く...
- 最近使用したファイルを開く(T)
- 閉じる(C) Ctrl+W
- すべてを閉じる Alt+Ctrl+W
- 閉じて Bridge を起動... Shift+Ctrl+W
- 保存(S) Ctrl+S
- 別名で保存(A)... Shift+Ctrl+S
- チェックイン(I)...
- Web 用に保存... Alt+Shift+Ctrl+S
- 復帰(V) F12

- 配置(L)...
- 読み込み(M)
- 書き出し(E)
- 自動処理(U)
- スクリプト(R)
- ファイル情報(F)... Alt+Shift+Ctrl+I
- プリント(P)... Ctrl+P
- 1部プリント(Y) Alt+Shift+Ctrl+P
- 終了(X) Ctrl+Q

- イメージ(I) レイヤー(L) 書式(V) 選択範囲(S)
- モード(M)
- 色調補正(I)
- 自動トーン補正(N) Shift+Ctrl+L
- 自動コントラスト(U) Alt+Shift+Ctrl+L
- 自動カラー補正(O) Shift+Ctrl+B

- 画像解像度(I)... Alt+Ctrl+I
- キャンバスサイズ(S)... Alt+Ctrl+C
- 画像の回転(G)
- 切り抜き(P)
- トリミング(R)...
- すべての領域を表示(V)
- 複製(D)...
- 画像操作(Y)...
- 演算(C)...
- 変数(B)
- データセットを適用(L)...
- トラッピング(T)...
- 解析(A)

- 2,244 pixel X 2,835 pixelのキャンパスに図を配置していく。
- 図を二列に配列するなら、1,122 pixel幅の図を並べる。
- 図を三列に配列するなら、748 pixel幅の図を並べる。
- PSDファイルとレイヤーを統合したTIFFの二つを保存する。

新規

ファイル名(N): Elsevier

プリセット(P): カスタム

サイズ(I):

幅(W): 190 mm

高さ(H): 240 mm

解像度(R): 300 pixel/inch

カラーモード(M): RGB カラー 8 bit

キャンバスカラー(C): 白

詳細

カラープロファイル(O): sRGB IEC61966-2.1

ピクセル縦横比(X): 正方形ピクセル

OK

キャンセル

プリセットを保存(S)...

プリセットを削除(D)...

画像解像度

ピクセル数: 18.2M

幅(W): 2244 pixel

高さ(H): 2835 pixel

ドキュメントのサイズ:

幅(D): 189.99 mm

高さ(G): 240.03 mm

解像度(R): 300 pixel/inch

スタイルを拡大・縮小(Y)

縦横比を固定(C)

画像の再サンプル(I):

バイキュービック自動

OK

キャンセル

自動設定(A)...



Journal of Oral Biosciences:

Welcome to the submission and

The Journal of Oral Biosciences is published quarterly in addition to a supplementary Proceedings of the Annual Meeting of the Japanese Association for Oral Biology, a quarterly in addition to a supplementary Proceedings of the Annual Meeting of the Japanese Association for Oral Biology. The Journal is devoted to the dissemination of fundamental knowledge and research in oral biology, including cariology, craniofacial biology, dental materials, immunology, microbiology/immunology, mineralized tissue, neuroscience, oral or maxillofacial surgery, pulp biology, and other fields.



Hints:

We strongly suggest you regularly check EES notifications. Update your 'Safe Senders List' that emails from EES are not filtered into spam.

Are you a new user?

Author Main Menu

Are you already registered? If so, click on the 'Login' button in the top right corner of the page. If you are not registered, click on the 'Register Now' button in the top right corner of the page.

Are you already a user? If so, click on the 'Login' button in the top right corner of the page. If you are not a user, click on the 'Register Now' button in the top right corner of the page.

Have you forgotten your password? Click on the 'Forgotten Username/Password' link in the top right corner of the page.

Do you need help? Click on the 'Help' link in the top right corner of the page.

Support

Technical

Customer

Login

[Guide to logging in](#)

クリック

Please Enter the Following

[Insert Special Character](#)

Username:

Password:

[Author Login](#) [Reviewer Login](#) [Editor Login](#) [Publisher Login](#)

[Forgotten Username/Password](#) [Register Now](#) [Login Help](#)

Is this account part of a [Consolidated Account](#)? If so, remember:

- Your **primary e-mail address** is your username.
- Your password is case-sensitive.

If you are unsure if you are already registered, click 'Forgotten Username/Password'.

Software Copyright © 2013 Aries Systems Corporation.

クリック

New Submissions

[Submit New Manuscript](#)

Submissions Sent Back to Author (0)

Incomplete Submissions (0)

Submissions Waiting for Author's Approval (0)

Submissions Being Processed (0)

クリック

Revisions

Submissions Needing Revision (0)

Revisions Sent Back to Author (0)

Incomplete Submissions Being Revised (0)

Revisions Waiting for Author's Approval (0)

Revisions Being Processed (0)

Declined Revisions (0)

Completed

[Submissions with a Decision](#) (2)

Link To ORCID

Please click Cancel if you do not want to retrieve your ORCID now.

For more information on ORCID, see the [ORCID website](#) or our [Support page on ORCID](#).

Link To ORCID

Our records show that you do not have an ORCID linked to your EES profile. If you wish, you may link your ORCID to your EES profile on this page. This step is optional and is not required for submission.

The Link to ORCID button will take you to the ORCID site, where you can grant permission for EES to access your ID. If you do not yet have an ORCID, you can register your ID and then link this to your EES profile.

Please click Cancel to proceed without linking ORCID to your profile.

ORCID:

今日は時間がないので、クリック

New Submission

[Frequently Asked Questions](#)

➔

Please Select an Article Type

Selecting an Article Type is Required for Submission.

To submit your manuscript to this journal, you need to complete all submission steps and approve the PDF that the system creates. Please note that submissions that have not been completed will be removed after 90 days. [\[More\]](#)

Please select the Article Type of your manuscript from the drop-down menu. The **Guide for Authors** lists the journal's requirements. To read the **Guide for Authors**, click the link in the banner at the top of each page.

You may also view the [Tutorial for Authors](#) for help with each submission step.

For further help with this submission step, please visit our [online support site](#).

Choose Article Type

Original Article
None
Original Article
Review Article
Short Communication
Technical Note
Letter

JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES
Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology

New Submission

[Frequently Asked Questions](#)

✓ [Select Article Type](#)

➔ [Enter Title](#)

Please Enter The Full Title of Your Submission

[Insert Special Character](#)

Entering a Full Title is Required for Submission.

Please enter **only** the title of your manuscript below. Additional comments may be entered at a later step.

For further help with this submission step, please visit our [online support site](#).

Full Title

Use of a triple antibiotic solution affects the healing process of intentionally delayed replanted teeth in mice

New Submission

[Frequently Asked Questions](#)

✓ [Select Article Type](#)

✓ [Enter Title](#)

➔ [Add/Edit/Remove Authors](#)

[Select Section/Category](#)

[Submit Abstract](#)

[Enter Keywords](#)

[Select Classifications](#)

[Additional Information](#)

[Enter Comments](#)

[Suggest Reviewers](#)

[Oppose Reviewers](#)

[Attach Files](#)

Please Enter the Following

[Insert Special Character](#)

Please enter the details of all authors (other than you) who contributed to the work reported in your manuscript. After entering each author's details, click **Add Author**.

By beginning the manuscript submission process, **YOU** are automatically identified as the Corresponding Author.

If needed, you may view the [interactive tutorial](#) explaining how to change the Corresponding Author of your manuscript. **If you change the Corresponding Author, the manuscript will be removed from your account and added to the new Corresponding Author's account when you leave or complete the submission process.**

For further help with this submission step, please visit our [online support site](#).

Limit 10 Authors

First Name*

Middle Initial

Last Name*

Academic Degree(s)

Affiliation

E-mail Address

Please select if this is the corresponding author

[Add Author](#)

[Previous](#)

[Next](#)

クリック

	First Name	Middle Initial	Last Name	Academic Degree	Affiliation	E-mail Address	ORCID
First Author Corresponding Author	Hayato		Ohshima	D.D.S, Ph.D.	Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	histoman@dent.niigata- u.ac.jp	

New Submission

[Frequently Asked Questions](#)

- ✓
- ✓
-
- ➔
-
-
-
-
-
-
-
-

Please Select Section/Category

Selecting a Section/Category is Required for Submission.

Select the **Section** or **Category** related to your manuscript from the drop-down menu below.

For further help with this submission step, please visit our [online support site](#).

Please Choose

- None
- Anatomy
- Histology
- Biochemistry
- Pharmacology
- Microbiology
- Physiology
- Pathology

Editorをイメージして、査読をして欲しい分野を選ぶ。

Editor-in-Chief:

Hayato Ohshima (Niigata, Japan)

Anatomy

Vice Editor-in-Chief:

Kiyoshi Konishi (Tokyo, Japan)

Microbiology

Associate Editors:

Makoto Funahashi (Sapporo, Japan)

Physiology

Kazuyuki Ishihara (Chiba, Japan)

Microbiology

Akira Ishisaki (Morioka, Japan)

Biochemistry

Keitaro Isokawa (Tokyo, Japan)

Anatomy

Kaoru Kusama (Sakado, Japan)

Pathology

Koji Okabe (Fukuoka, Japan)

Physiology

Hiroshi Sakagami (Sakado, Japan)

Pharmacology

Masaharu Takigawa (Okayama, Japan)

Biochemistry

Satoru Toyosawa (Suita, Japan)

Pathology

JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology

New Submission

Frequently Asked Questions

- ✓
- ✓
-
- ✓
- ➔
-
-
-
-
-
-
-

Please Enter Abstract

[Insert Special Character](#)

Submitting an Abstract is Required for Submission.

Enter the **Abstract** of your manuscript into the text box below.

If you edit your Abstract in the text box (for example to make it shorter), please copy and paste this version of your Abstract into your manuscript file.

The Abstract may be copied and pasted from a word processing program; however, some of the formatting will be lost.

For further help with this submission step, please visit our [online support site](#).

Limit 250 words

Word Count: 247

Objective: A mixture of ciprofloxacin, metronidazole, and minocycline (3Mix) has been reported to be effective against oral bacteria from carious and endodontic lesions in vitro and in vivo. The animal model using following intention to investigate the effect of dental pulp and periodontitis. Methods: Upper first molars were treated with 3Mix solution at day 0 or without the use of solution (PBS). The mice were subsequently reposed

New Submission

Frequently Asked Questions

- ✓
- ✓
-
- ✓
- ✓
- ➔
-
-
-
-
-
-

Please Enter Keywords

[Insert Special Character](#)

Entering one or more Keywords is Required for Submission.

Entering keywords will help Editors select appropriate referees to review your submission.

Keywords should be separated by semicolons, e.g. moulds; yeasts; pathogenesis.

NOTE Keywords should also be present within the manuscript text file for typesetting purposes.

For further help with this submission step, please visit our [online support site](#).

Limit 5 Keywords

Keyword Count: 5

Antimicrobials; Odontoblasts; Dental pulp; Tooth replantation; Mice (ICR)

クリック

Previous Next

JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology

New Submission

[Frequently Asked Questions](#)

- ✓
- ✓
-
- ✓
- ✓
- ✓
- ➔
-
-
-
-
-

Please Select Classifications

Selecting a Classification is Required for Submission.

Selecting classifications will help Editors find referees to review your submission.

Click "Select Manuscript Classifications" to open a window containing a list of the Classifications.

For further help with this submission step, please visit our [online support site](#).

Selected Classifications

60: [Cell Biology](#)
300: [Pulp Biology](#)
350: [Therapeutics](#)

New Submission

[Frequently Asked Questions](#)

- ✓
- ✓
-
- ✓
- ✓
- ✓
- ✓
- ➔
-
-
-
-

Please Enter The Following

Additional Information is Required for Submission.

Please **respond** to the questions/statements below.

I declare the manuscript is original

Answer Required: Please select a response
 - Yes
 - No

The manuscript is prepared in compliance with the Guide for Authors

Answer Required:

All requirements are checked against the Submission Checklist as shown in the Guide for Authors

Answer Required:

Conflicts of interest or its non-existence were disclosed in the manuscript

Character Count: 3
Answer Required: Limit 200 Characters

[Insert Special Character](#)

JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology

New Submission

[Frequently Asked Questions](#)

- ✓
- ✓
-
- ✓
- ✓
- ✓
- ✓
- ✓
-
- ➔
-
-

Suggest Reviewers

[Insert Special Character](#)

Suggesting 3 reviewer(s) is Required for Submission.

Please suggest potential Reviewers for this submission.

A * indicates a required field.

For further help with this submission step, please visit our [online support site](#).

First Name*

Middle Initial

Last Name*

Academic Degree(s)

Position

Department

Institution

E-mail Address*

Reason

New Submission

[Frequently Asked Questions](#)

- ✓
- ✓
-
- ✓
- ✓
- ✓
- ✓
- ✓
-
-
-
- ➔

最も自分の研究を理解して、適確なsuggestionを頂ける査読候補者を3名記載する。

Please Attach Files

[Insert Special Character](#)

For each file you wish to submit, scroll down and:

1. Select the appropriate **Item** from the drop-down list. Mandatory items are marked with an asterisk (*).
2. Enter a Description in the text box.
3. Click Browse.
4. In the opened window, select the file on your computer (original source file, not a PDF) and click Open. 'File Name' is filled now.
5. Click Attach This File.

Repeat steps 1-5 to attach the next submission Item. When all Items have been attached, click Next at the bottom of the page.

Further information is available

- [General Requirements >](#)
- [Guidelines for Preparing Artwork/Figures](#)
- [Guidelines for LaTeX](#)
- View the [guide](#) explaining this step

Please download

[Conflict of Interest Form](#) and submit it along with your manuscript.

Item	Description	File Name:
*Conflict of Interest form	<input type="text"/>	<input type="text"/>
*Conflict of Interest form	<input type="text"/>	<input type="text"/>
*Manuscript	<input type="text"/>	<input type="text"/>
Cover Letter	<input type="text"/>	<input type="text"/>
Figure	<input type="text"/>	<input type="text"/>
Table	<input type="text"/>	<input type="text"/>
Video	<input type="text"/>	<input type="text"/>
Video Still	<input type="text"/>	<input type="text"/>
Additional Files	<input type="text"/>	<input type="text"/>

No Items have yet been attached for this submission.

JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology

Conflict of interest

Japanese Association for Oral Biology

Journal of Oral Biosciences

Potential Conflict of Interest Disclosure Statement

Author's names: Angela Quispe-Salcedo, Hiroko Ida-Yonemochi,

Hayato Ohshima

Manuscript Title: The use of a triple antibiotic solution affects the healing process of intentionally-delayed replanted teeth in mice

All authors are required to disclose any COI within the period of 12 months prior to the submission of any manuscript in the subject matter of which any company, entity, or organization has an interest.

The corresponding author is required to complete this form with information from all the authors listed in the manuscript.

Area	No	If Yes: List the name(s) of authors and commercial entity(ies) and use as much space as necessary	
1. Employment/Leadership position/ Advisory role (1,000,000 JPY* or more annually from one commercial entity)	No	e.g. Taro Fujiyama	e.g. ABC Pharmaceuticals
2. Stock ownership or options (Profit of 1,000,000 JPY or more annually from the stock of one company/ ownership of 5% or more of total shares or one company)	No		
3. Patent royalties/licensing fees (1,000,000 JPY or more per one royalty/licensing fee annually)	No		
4. Honoraria (e.g. lecture fees) (500,000 JPY or more annually from one commercial entity)	No		

annually from one commercial entity	No		
5. Manuscript fees (500,000 JPY or more annually from one commercial entity)	No		
6. Research funding (2,000,000 JPY or more annually payment to departments [department, field, or laboratory] that share research expenses from the same commercial entity)	No		
7. Subsidies or Donations (2,000,000 JPY or more annual payment to departments [department, field, or laboratory] that share research expenses from the same commercial entity)	No		
8. Endowed departments by commercial entities (If any of the authors belongs to an endowed department sponsored by any commercial entity)	No		
9. Travel fees, gifts, and others (50,000 JPY or more annually from one commercial entity)	No		

*Please refer to the current currency exchange rate for Japanese Yen at an appropriate website.

This statement will be kept for 2 years after the publication of the manuscript.

Date of Completion: 07/01/2013

Corresponding author's Name: Hayato Ohshima



Japanese Association
for Oral Biology

歯科基礎医学会



JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology

- Journal of Oral Biosciences (JOB) 誌は皆様の投稿をお待ちしています！
- JOB誌の発展は歯科基礎医学会の発展に繋がり、学会の発展は歯科医学の発展に繋がる



DENTISTRY



JAOB JAPANESE ASSOCIATION FOR
ORAL BIOLOGY since 1958



参考文献

- 近藤昭彦（神戸大学教授）「ジャーナルエディターからみたよい論文とは」
 - エルゼビア Author Workshop（2011年11月8日）資料
 - http://japan.elsevier.com/news/events/aw/kobe_prof_kondo.pdf
- Author Pack 学術ジャーナルに論文を出版するための手引き（エルゼビア社）
 - http://japan.elsevier.com/publishing/authorpack_jp_200911.pdf